

# シャルコー・マリー・トゥース病合併患者の麻酔経験

池田 静佳<sup>1)</sup> 松永万鶴子<sup>2)</sup> 仁田原慶一<sup>3)</sup>  
藪内 理恵<sup>4)</sup> 比嘉 和夫<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>福岡大学病院麻酔科学

<sup>2)</sup>福岡大学病院手術部

<sup>3)</sup>福岡大学医学部麻酔科学

<sup>4)</sup>福岡大学医学部形成外科

**要旨：**シャルコー・マリー・トゥース病を合併した症例の麻酔管理を行った。症例は18歳，女性で陳旧性鼻骨骨折の骨切整復術をプロポフォールとフェンタニルで導入し，ベクロニウムを投与後に気管挿管した。われわれの症例ではプロポフォール，ベクロニウムに対する反応性は健常人と明らかな違いはなかった。

**索引用語：**シャルコー・マリー・トゥース病，遺伝性ニューロパチー，プロポフォール，ベクロニウム，四連刺激